

# 農地・水・環境保全向上対策 ブロック別活動報告集



(平成22年3月)

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会

## はじめに

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の平成21年度の取組みとして、各ブロック別に地域の要望に応じた研修会や事例報告会を行い、活動組織の関係者から多数の参加をいただきました。

協議会では引き続き、活動組織の取組内容の向上や体制の強化を推進する啓発活動を行います。

### ■京都市・乙訓ブロック

農地・水・環境保全向上対策活動組織研修会……………	3
(農と環境を守る地域協働活動支援事業)	
パネル展示……………	4

### ■山城ブロック

農薬飛散防止について研修会を開催……………	5
人材育成現地研修会……………	6
～水中ポンプの維持管理と点検方法～	
体制強化研修 事例発表会……………	7

### ■南丹ブロック

鳥獣害対策研修会……………	8
---------------	---

## ■中丹ブロック

『共に育む里力』活動写真コンテスト .....	9
《中丹元気市》誰にでも出来る簡易水路補修の実演 .....	10
体制整備構想（案）策定説明会の開催.....	11
地域プラン（マップ）作りワークショップ開催！ .....	12
環境にやさしい農業技術研修会を開催.....	13
簡易水路補修研修の開催.....	14
《水土里マネジメント》による地域支援 .....	15

## ■丹後ブロック

阿蘇海的环境浄化に向けた営農と学習活動.....	16
田んぼの学習、生き物調査.....	17
安心・安全な「京の豆っこ米」生産に向けて.....	18
ふるさと発見隊（田んぼの生き物調査） .....	19
水路の簡易補修実習.....	20

## 京都市・乙訓ブロック

## 農地・水・環境保全向上対策活動組織研修会

(農と環境を守る地域協働活動支援事業)

- 1 日 時：平成21年8月7日(金) 14:00～16:30
- 2 場 所：ルビノ京都堀川
- 3 参加者：管内活動組織34名、府及び市町職員19名
- 4 事例報告組織
  - (1) 活動組織からの報告
    - 向島・米の里づくり協議会 (京都市伏見区)
    - 宇津の里を守る会 (京都市左京区)
  - (2) 基調講演「農地・水・環境保全向上対策から地域活性化へ」
    - 京都大学大学院農学研究科 星野敏教授 (京都府第三者委員会委員長)
  - (3) 環境にやさしい農業技術の実証状況について (京都乙訓農業改良普及センター)

農村の地域力再生を図る取組の一つとして、「農と環境を守る地域協働活動支援事業」を府内各地で取組み、地域ぐるみの保全活動と環境にやさしい農業を推進しています。

この取組をきっかけにして、農村の地域づくりや、地域全体で環境負荷低減に向けた営農活動につなげていってもらうために、京都市・乙訓管内の活動組織が集い、取組報告、基調講演、意見交換等を行いました。



【取組報告 (向島・米の里づくり協議会)】

当対策に取り組んだ結果、遊休農地の整備、年2回実施の水路泥上げ作業、町内会のゴミ拾い活動を実施することにより地域住民の環境を守る意識が高まった。



【基調講演 (京都大学大学院 星野教授)】

農地・水対策はあくまで手段であり、共同活動を促し、地域活性化へ結びつけることが目的である。本対策の実施をきっかけに集落内で十分に話し合い、今後は地域の将来ビジョンを定めていってほしい。

京都市・乙訓ブロック

# パネル展示

## 1 開催期間

### (1) 府庁2号館展示ロビー

平成21年8月17日(月)～21日(金)

平成22年2月22日(月)～26日(金)



### (2) 京都環境フェスティバル

平成21年11月21日(土)～22日(日)



### (3) 京都府農林水産フェスティバル

平成21年11月28日(土)～29日(日)



## 山城ブロック

# 農薬飛散防止について研修会を開催

- 1 活動組織：岩田地区資源保全隊
- 2 実施期間：平成21年6～7月
- 3 参加者： 活動組織5名、府及び市町職員2名

平成21年8月19日、普及センターは同共撰組合のトマト栽培農家5名を対象に研修会を実施し、ドリフト低減ノズルと不織布「ホノガード」を組み合わせた農薬飛散防止実証と、天敵農薬によるコナジラミ、アザミウマの防除試験の結果を報告した。参加者からは、ビニールハウスでの利用上の注意点について質問が出された。今後は、これらの技術が夏から冬への栽培に導入されるため、技術的な支援を行う。



天敵の放飼方法と粘着シートによる害虫発生状況調査方法について研修

## 山城ブロック

## 人材育成現地研修会 ～水中ポンプの維持管理と点検方法～

- 1 日 時：平成21年11月17日(火) 14:00～16:15
- 2 場 所：JA京都やましろ八幡支店 会議室  
(雨天のため、急きょ現地での研修を変更)
- 3 参加者：管内活動組織19名、府及び市町職員6名

「農と環境を守る地域協働活動支援事業」に取り組んでいる地元活動組織を対象に、より充実した活動を展開するため、昨年度から人材育成に資する研修に取り組んでいます。

管内には、農業用水を地下水に頼る地域も多く、多数の水中ポンプが重要な水源施設として活躍しており、毎年、老朽化等により、ポンプの更新も数多く実施されている現状にあります。

今回、水中ポンプの維持管理と点検方法について研修を行うことにより、ポンプのトラブルの回避や長寿命化を図ることを目的に実施しました。

講師には、現場の第一線で活躍しているポンプメーカー技術者の方を招き、利用者自らができる日常点検の方法や現場でよくあるトラブルなどを紹介してもらいました。受講者にはわかりやすい講義となったようで、講演後の質疑においては受講者から多数の質問が寄せられ、活発なやりとりが行われました。

あいにく、当日は雨天のため、現場での研修は中止となりましたが、有意義な研修会となりました。



【 研 修 風 景 】

## 山城ブロック

## 体制強化研修 事例発表会

- 1 日 時：平成21年12月9日(水) 14:00~16:30
- 2 場 所：京田辺市立中央公民館
- 3 参加者：管内活動組織44名、府及び市町職員12名、その他5名
- 4 事例報告組織：①江津地区農地・水・環境保全向上委員会（京田辺市）  
 ②東一口地域資源保全隊（久御山町）  
 ③高田地域ぐるみ農地・水・環境保全会（木津川市）  
 ④西八地区農地・水・環境保全会（京田辺市）

昨年度に引き続き、地元活動組織の具体的な取組事例、意見交換及び本年度作成する「体制整備構想（案）」の作成方法についての研修を開催しました。

意見交換においては活発なやりとりが行われ、受講者には参考となったようでした。

当日は「京都府農と環境を守る地域協働活動支援委員会」の委員も参加され、環境保護の専門家に積極的に助言を受けることやブログ等からの情報発信の重要性などのアドバイスがありました。

山城管内においては、農村の地域力再生のため「農と環境を守る地域協働活動支援事業」に取り組んでいる23組織が活動しており、地域ぐるみで保全活動を推進しています。



【主催あいさつ】



【事例発表風景】



【星野委員長からのアドバイス】



【熱心に聞き入る参加者】

## 南丹ブロック

## 鳥獣害対策研修会

- 1 日 時：①平成21年12月21日(月) 10時～16時  
②平成22年 1月15日(金) 10時～16時
- 2 場 所：①午前：京都府農林水産技術センター  
午後：亀岡市本梅町東加舎  
②午前：和知ふれあいセンター  
午後：京丹波町塩谷
- 3 参加者：①活動組織22組織(22名)、府及び市町職員 6名  
②活動組織25組織(45名)、府及び市町職員10名

本年度は、アンケート調査を実施し、その結果により研修会のテーマを決定。

アンケート調査結果は、(1)鳥獣害対策について (2)他の活動組織の取組事例について (3)制度の基礎的な勉強会、学識経験者の講演が主な要望であった。

本年度は、1 番要望の多かった鳥獣害対策について、本年度発足した京都府農林水産部農林水産技術センターに講師をお願いし、午前は講演、午後は野外研修の2部構成で、猪、鹿の対策を中心に研修を実施した。

参加者からは、実践の苦勞を交え、柵の高さ、向き、材質、電線の巻き方等の質問、最近猪、鹿ばかりでなくアライグマ、ヌートリア、サルの被害も多くなってきた声も多くあった。また行政に対する質問、要望も多く、行政に対する期待も大きい。参加者からは、大いに参考になったという意見を多くもらい有意義な研修となった。



中丹ブロック

『共に育む里力』活動写真コンテスト

- 1 開催期間：平成21年9月5日(土) 中丹元気市（舞鶴市総合文化会館）  
平成21年9月29日～10月29日（※管内府庁舎を巡回）
- 2 応募総数：55作品（31活動組織）
- 3 選考投票数：1136票

中丹ブロックでは、農地や農業用水といった貴重な農村資源の保全や維持管理に、地域住民や子供達の参画を得て地域ぐるみで取り組む「里力」を、広く府民アピールするため活動写真コンテストを行いました。

応募写真は、作品集としてリーフレットに取りまとめ、本活動の府民PRなどに活用しています。

（題材）：平成19年度～21年度の取り組みを通じ、広く府民PRしたい特徴ある活動状況の写真

（審査）：中丹元気市や管内府各総合庁舎において展示し、下記の選考ポイントに基づき、府民の皆さんの投票結果により入賞を決定。

○農村が力を合わせて、農地や農村環境の保全や維持管理に取り組んでいることがわかる写真

○様々な団体が参加し、地域ぐるみで活動している様子がわかる写真

- （結果）
- ・最優秀作品「子供会と雨の中での田植え」(西和の里協議会)
  - ・優秀作品「蛍で照らそう未来の鹿原」(鹿原地区活動組織)
  - ・同上「親子で参加水辺の生きもの観察会」(下川口地域資源保全会)
  - ・佳作 4作品（グリーン清水、中六人部地域資源保全会、堀地区活動組織、水梨環境向上活動組織）



中丹元気市での展示・投票風景



最優秀作品（西和の里協議会）

## 中丹ブロック

## 《中丹元気市》誰にでも出来る簡易水路補修の実演

1 日 時：平成21年9月5日(土)

2 場 所：舞鶴市総合文化会館

「安心・安全」をテーマに京都府の役割・取り組みをPRする『中丹元気市キックオフイベント』が9月5日(土)に舞鶴市総合文化会館で開催されました。

その中で、農地・水・環境保全向上対策のPR活動の一環として、各活動組織に対して普及を行っている簡易水路補修（塗装工法、テープ工法）の実演を行いました。

来場者の中でも、特に子供達の興味を引いたようで、たくさんの子供達が水路補修を体験してくれました。



上手くできるかな？



←移動式水力発電機「水力くん」も展示

## 中丹ブロック

## 体制整備構想（案）策定説明会の開催

- 1 日時： 福知山市 平成21年10月22日(木) 14:00～16:30  
綾部市 平成21年11月24日(木) 10:00～、14:00～  
舞鶴市 平成21年11月25日(金) 19:30～21:00
- 2 場所： 福知山市 市民会館  
綾部市 豊里コミュニティセンター、農業振興センター  
舞鶴市 中総合会館
- 3 参加者： 福知山市 活動組織36名、府及び市職員5名  
綾部市 活動組織64名、府及び市職員5名  
舞鶴市 活動組織67名、府及び市職員4名

中丹ブロックの活動組織を対象とした体制整備構想（案）策定説明会を、管内3市でそれぞれ開催しました。

府及び市職員から、「作成の手引き」による内容説明を受け、質疑応答では「策定した内容が達成されなかった場合、交付金の返還等があるのか?」「5年先の見通しも立たないのに、なぜ10年後なのか?」といった質問も出ましたが、現在まで各活動組織が取り組んできた、地域協働での農地・水・環境保全の活動が、本対策期間終了後も地域に定着し、継続されていく体制の構築に向けての意識が高まりました。



説明会風景（舞鶴市中総合会館）

中丹ブロック

**地域プラン(マップ)作りワークショップ開催!**

- 1 日 時：平成22年1月9日(土)
- 2 場 所：綾部市篠田公会堂
- 3 参加者：管内活動組織20名、府及び市町職員4名

この取り組みは、農地・水・環境保全向上対策の「体制整備構想（中間案）」作成を契機とし、集落自らが「私達の集落は将来こうありたい。」という思いを、ワークショップを通じて集落内で共有してもらうとともに、集落活性化活動や地域共同管理活動の中心となるリーダーを育成するため、中丹管内で『水土里マネジメント』として農村集落の支援に取り組んでいるものです。

今回取り組みを行った「篠田農地・水・環境保全対策協議会」の他、6組織で取り組みを行っています。

- 実施地区：小呂町農村環境保全会、一区ふるさと守ろう会、多田環境保全組合、上八田水土里会、篠田農地・水・環境保全向上対策協議会、栗上環境保全会、山田の環境を守る会（計7組織）
- 話し合い内容：「地域の好きなおとこ」 「改善したいところ」 「夢」 「キャッチフレーズ」



ワークショップ風景



活発な意見が出ています！



発表風景

## 中丹ブロック

# 環境にやさしい農業技術研修会を開催

- 1 活動組織：下川口地域資源保全会他
- 2 実施期間：平成22年1月21日(木)
- 3 参加者：活動組織等26名、府及び市職員3名

平成22年1月21日、福知山市公設地方卸売市場会議室において、「下川口地域資源保全会」の構成員を含む「福知山市地場野菜生産出荷組合連絡協議会」のエコファーマーを対象とした研修会が開催されました。

研修会では中丹西農業改良普及センターの普及指導員が講師となり、「環境にやさしい農業技術」に関する説明を行いました。

エコファーマーは主に学校給食へ認定作物を出荷しており、「さらに安心・安全な農産物を供給していこう」と決意を固めました。



安心・安全な農作物を生産するための技術を学ぶ

## 中丹ブロック

## 簡易水路補修研修の開催

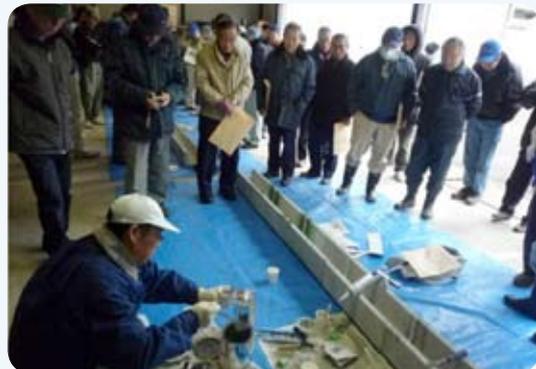
- 1 日 時： 平成22年1月25日(月) 13:30～16:00
- 2 場 所： 京都府綾部総合庁舎
- 3 参加者： 活動組織及び市職員53名

農地・水・環境保全向上対策の取り組みの一つとして、農業用水路の長寿命化を図るため、各活動組織において地域協働作業による簡易水路補修が積極的に取り組まれています。

中丹ブロックでは、各活動組織が進める水路簡易補修の取り組みが、より効率よく効果的なものとなるように、適切な「工法検討～材料調達～施工手法」の知識、技術習得を支援することを目的として、簡易水路補修研修会を開催しました。今回の研修には、管内の市職員も参加し、活動組織の皆さんとともに技術の向上に取り組みました。



簡易水路補修技術を研修



座学の後、実演研修も実施

## 中丹ブロック

《<sup>みどり</sup>水土里マネジメント》による地域支援

- 1 活動組織：管内3活動組織
- 2 実施期間：平成22年1月29日(金)、2月9日(火)、2月16日(火)
- 3 参加者：活動組織役員、府職員

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会中丹ブロックでは、地域が自らの手で農地や農業用施設の維持管理・修繕（水路・農道補修、畦畔管理、排水不良等）に取り組まれる際の困りごとを、『水土里困りごと相談』として受け付け、その対処方法や取り組み手法についてアドバイスを行う《水土里マネジメント》を展開し、農村の自主的な地域協働活動支援に取り組んでいます。

平成21年度は、管内の3活動組織から相談を受け、現地に出向き『水土里困りごと相談』対応を行なっていました。



湿田箇所の対処方法についての相談



水路、農道不具合箇所の対処方法についての相談

丹後ブロック

## 阿蘇海の環境浄化に向けた営農と学習活動

- 1 日 時：平成21年5月8日(金)、10月26日(月)
- 2 場 所：京都府与謝野町後野、阿蘇海
- 3 参加者：管内活動組織30名、府及び市町職員15名（延べ）

水田作業の一つである「代かき」時に排出される濁水は、天橋立の内海「阿蘇海」の水質悪化の一因であるとされています。与謝野町では、農地・水・環境保全向上対策の営農活動組織を中心に、少ない水で代かきをすることで濁水を出さない「浅水代かき」を実施しています。

5月には実演会を行い、周辺地域の生産者へ技術普及と阿蘇海浄化活動の啓発を図りました。また、本対策に取り組む生産者を中心に「阿蘇海」の実態を知るため、10月には船上から透明度やヘドロの状態を確認しました。

これらの活動を通じて生産者相互の環境に対する意識向上を図っています。



田面が70%見える状態で専用ハローを使い  
浅水代かきを行う



浅水代かきの効果について  
説明する普及指導員



「阿蘇海」を実際に見て問題を認識される生産者

丹後ブロック

## 田んぼの学習、生き物調査

- 1 活動組織： 二箇環境向上委員会（京丹後市峰山町）
- 2 実施期間： 平成21年7月29日(水) 午前9時30分～正午
- 3 参加者： 二箇環境向上委員会構成委員33名  
 （二箇区内の小学生等23名 関係役員10名）  
 丹後広域振興局・京丹後市職員

農地・水活動組織役員及び二箇区、子供会、婦人会などとの協働で二箇地区の子ども達を対象に地区内を流れる鱒留川をフィールドに学習会を行いました。

川の水がどのように巡って私たちの生活に密接に関わっているか、川や田んぼがいかに豊かな自然に恵まれているかを学習しました。井堰の模型で川から水が取り入れられて田んぼを潤し、棚田の模型を使って、田んぼが米を作るだけでなく、水を貯め、災害を防ぐ仕組みなどを実験して学びました。

また、子どもたちは実際に川に入り、多くの魚などを捕まえ、また、毎年地元役員が実施している水質検査も行って、鱒留川の豊かな生き物と自然を実感していました。



井堰の模型で水をせき上げて、田んぼへ導く実験をしました。



棚田の模型で田んぼの役割を学びました。



みんな水浸しになって、魚を追かけました。



簡易な検査キットを使って、鱒留川の水質を確かめました。(写真はpH検査)



捕まえた魚の名前を、下敷き図鑑で見比べて確かめました。

## 丹後ブロック

## 安心・安全な「京の豆っこ米」生産に向けて

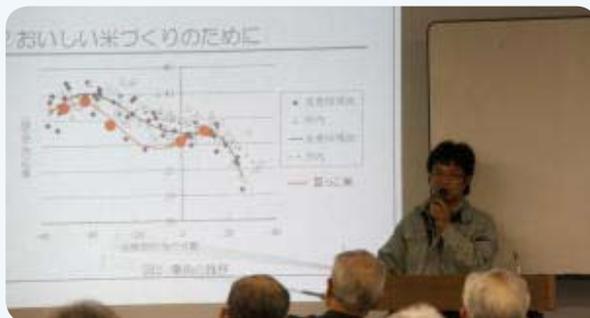
- 1 日 時：平成21年8月6日(木)、平成22年2月12日(金)
- 2 場 所：京都府与謝野町後野、役場
- 3 参加者：管内活動組織60名、府及び市町職員10名(延べ)

与謝野町は自然循環農業の取り組みとして町内で製造された有機質肥料「京の豆っこ」肥料を使用して「京の豆っこ米」を生産しています。この米は農地・水・環境保全向上対策とも連動し、化学肥料や化学農薬の削減および浅水代かきの実施など、環境にやさしい特別栽培米として生産されています。

生産者と関係機関は、栽培期間中に生育や技術の適否を診断する調査確認を行い、2月には「京の豆っこ米」の施肥、農薬使用方法やおいしい米づくりについて栽培研修会を実施するなどの取り組みを進めています



「京の豆っこ米」は厳しいほ場確認、栽培確認を実施され管理されています。



「京の豆っこ米」研修会でおいしい米作りについて説明する普及指導員。

丹後ブロック

## ふるさと発見隊（田んぼの生き物調査）

- 1 活動組織：木橋区農地・水・環境保全隊（京丹後市弥栄町）
- 2 実施期間：平成21年8月2日（日）午後1時30分～午後3時00分
- 3 参加者：木橋区農地・水・環境保全隊構成員  
（木橋区、子ども会の親子）20名

農地・水・環境保全向上対策に取り組む「木橋区農地・水・環境保全隊」と丹後広域振興局農林整備室が協働で木橋地区内を流れる川を中心に生き物調査を行いました。

梅雨模様の悪条件の中、参加した子どもたちは大人の指導を受けながら多くの種類の生き物を捕まえることができました。

地域で保全活動を行っているゲンジボタルの幼虫を観察することができ、木橋地区の豊かな自然を実感しました。



大人の指導を受けながら、多くの生き物を捕まえることができました。



カワムツ、タカハヤ、・・・



カワニナの放流を行いました

## 丹後ブロック

## 水路の簡易補修実習

- 1 日 時：平成21年11月9日(月) 13時30分～16時00分
- 2 場 所：京丹後市弥栄町黒部地内（農業用水路）
- 3 参加者：京丹後市内の農地・水・環境保全向上対策活動組織のリーダー33人

地域になくってはならない水路施設について、経年劣化による傷みなどを自分たち自身で補修し、より長くより大切に使用してもらおうと簡易補修の実習研修を行いました。京丹後市内の農地・水・環境保全向上対策に取り組む17の活動組織のリーダー33人が参加し、簡易な方法で補修できる傷みの種類や事前の準備、補修方法などの説明を聞いた後、目地を観察したりシーリング材を塗布したり、簡易補修の実習をしました。農地・水・環境保全向上対策では、共同活動を通じて、改めて地域についての気づきや思いを住民が持つようになってきています。

今回の実習が農業用水路などの施設に対する関心を一層高め、地域の共同活動が行われることで、愛着を持って長く使用されていくことが期待されます。



【補修方法】  
補修できる傷みや補修手法について説明



【補修実習】  
今回の補修方法を実習する参加者



【補修実習】シーリング材がうまく塗れるかな？

Memo



**発行 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会**

協議会事務局(京都府土地改良事業団体連合会)

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 京都府庁西別館

TEL 075-451-9633 FAX 075-414-2777

Mail : jimukyoku@nouchimizu-kyoto.jp

HP <http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>